

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

大分県産野菜を活用した下ゆで簡便加工品の開発・販路開拓

県産農産物を使用し、多用途に使える下ゆで簡便加工品の開発し、販路拡大を図る。

➤ 連携体

農林漁業者

JAおおいた(協同組合)

規格外で未利用であったものや農薬、化学肥料を慣行使用量より少なくして生産した農産物を、加工品原料として(株)クローバー食品へ安定供給する。

中小企業者

(株)クローバー食品(食料品製造販売業)

多用途に使える下ゆでパックをはじめとする時代のニーズに沿った商品の企画開発から製造販売までを行う。

連携参加者

(農)JAPANクローバー(農業)

原料農産物の安定供給。

サポート機関等

大分県中小企業団体中央会、おおいた食料産業クラスター協議会

➤ 連携の経緯

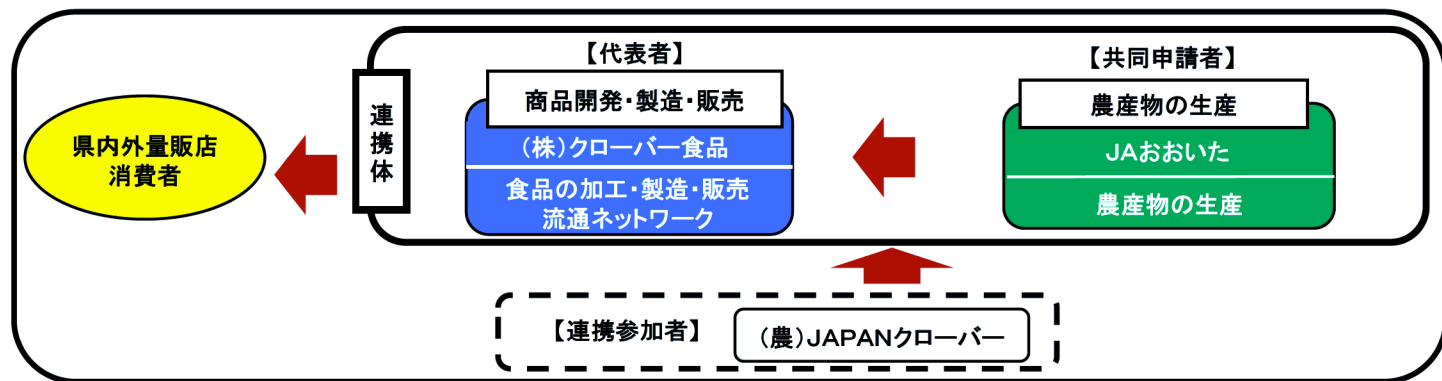
(株)クローバー食品は、安全・安心な県産農産物を活用した商品開発に取り組む中で、高品質原料の安定調達が課題であった。一方、JAおおいたは付加価値の高い農業生産と、農業従事者の高齢化等の問題を抱え、限られた労力での生産性・収益性の向上が課題であった。このような両者の経営課題と今後の方向性の一致から連携するに至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

JAおおいたは、新たに(株)クローバー食品へ原料農産物供給を開始する。農薬、化学肥料を慣行の使用量より少なくした野菜生産に取り組み、また規格外農産物の商品化により、農業者の経営改善を図る。

(株)クローバー食品は、安全・安心な県産農産物を使用し、多用途に使える下ゆで簡便加工品を製造販売する。



➤ 連携による効果

農林漁業者

3年で6,000万円の売上高増

農薬、化学肥料を慣行使用量より少なくした農産物の生産、規格外農産物の商品化による農業経営の改善が期待される。

中小企業者

3年で1億2,000万円の売上高増、県産農産加工品のブランド化

県産農産物を用いた新商品の開発及びブランド化により、販路を拡大することで、経営の向上が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社クローバー食品
TEL：0978-24-0363
E-mail：honsya@clover-foods.co.jp

所在地：大分県豊後高田市玉津新開1544-3
FAX：0978-24-1350
ホームページ：http://www.clover-foods.co.jp/